

平成 24 年 2 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成 24 年 1 月 11 日

上場会社名 株式会社 ブロッコリー 上場取引所 大
 コード番号 2706 URL <http://www.broccoli.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森田 知治
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 渡邊 朋浩 (TEL) 03 (5372) 6322
 四半期報告書提出予定日 平成 24 年 1 月 13 日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成 24 年 2 月期第 3 四半期の業績 (平成 23 年 3 月 1 日～平成 23 年 11 月 30 日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24 年 2 月期第 3 四半期	4,635	△40.3	610	201.3	602	204.1	468	176.4
23 年 2 月期第 3 四半期	7,766	-	202	-	198	-	169	-

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24 年 2 月期第 3 四半期	14.32	-
23 年 2 月期第 3 四半期	5.18	-

(注) 23 年 2 月期第 3 四半期の対前年同四半期増減率につきましては、22 年 2 月期第 3 四半期において、四半期連結財務諸表を作成し、四半期財務諸表を作成していないため、記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1 株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24 年 2 月期第 3 四半期	1,858	834	44.9	25.50
23 年 2 月期	1,807	365	20.2	11.17

(参考) 自己資本 24 年 2 月期第 3 四半期 834 百万円 23 年 2 月期 365 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23 年 2 月期	-	0.00	-	0.00	0.00
24 年 2 月期	-	0.00	-	-	-
24 年 2 月期(予想)	-	-	-	3.50	3.50

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 有

3. 平成 24 年 2 月期の業績予想 (平成 23 年 3 月 1 日～平成 24 年 2 月 29 日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通 期	5,366	△49.0	616	126.5	608	131.6	467	-
								14.29

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.6 2.「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年2月期3Q	32,713,211株	23年2月期	32,713,211株
24年2月期3Q	211株	23年2月期	211株
24年2月期3Q	32,713,000株	23年2月期3Q	32,713,000株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が発表日及び現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものでありますが、業績等につきましては様々な要因により、今後大きく異なる可能性があります。

2. 当社は、「四半期財務諸表規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	4
(1) 経営成績に関する定性的情報	4
(2) 財政状態に関する定性的情報	4
(3) 業績予想に関する定性的情報	5
2. その他の情報	6
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	6
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	6
3. 四半期財務諸表	7
(1) 四半期貸借対照表	7
(2) 四半期損益計算書	9
【第3四半期累計期間】	9
【第3四半期会計期間】	10
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 継続企業の前提に関する注記	13
(5) セグメント情報	14
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	15

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災の影響に加え、欧州における債務問題等の不安定な金融情勢や、海外景気の下振れ懸念、円高の長期化等、経済環境の先行き不透明感は依然厳しい状況で推移しておりますものの、生産設備の復旧や寸断されたサプライチェーンの修復に加え、個人消費も震災による消費者マインドの悪化が一巡する等、足元では持ち直しつつあります。

当社が属するエンターテインメント業界におきましては、根強い顧客層を背景として、景気低迷の影響を大きく受けることなく、比較的底堅い市場を維持しておりますものの、コンテンツ関連は、音楽のデジタル・ダウンロード、携帯電話向けポータルサイト兼ソーシャルネットワークキング・サービスの浸透、電子書籍など、デジタル配信への移行を早めており、企業間競争は、引き続き激化しております。

当社は、かかる経営環境下において、収益力の更なる向上を実現するために、自社内にて開発するコンテンツのヒット創出及びハイリターンの追求、リアルグッズ製作での確実な収益確保、長期滞留在庫の圧縮及び徹底したコスト削減に注力してまいりました。

このような状況下、当第3四半期累計期間の売上高は4,635百万円（前年同期比59.7%）となりました。

この主な要因としましては、平成23年6月1日をもって株式会社アニメイトに当社リテール事業を譲渡いたしましたことにより、エンターテインメント事業の売上高のみになったものの、ゲーム部門では、7月から放送されたTVアニメ『うたの☆プリンスさまっ♪マジLOVE1000%』の好評を受け、8月に発売したゲームソフト『うたの☆プリンスさまっ♪Repeat』と11月に発売したゲームソフト『うたの☆プリンスさまっ♪MUSIC』の売上が計画を上回った他、昨期に発売した旧作のバックオーダーも好調であったこと、CD部門におきましても、TVアニメとタイアップしたCDが好調な売上であった他、来年度に発売予定のゲームソフト『うたの☆プリンスさまっ♪Debut』に先立って発売した関連CDシリーズも好調であったこと、カードゲーム部門では、『アクエリアンエイジ』が好調であったこと、グッズ部門では、ほぼ計画通りに推移したことなどが挙げられます。

売上総利益は、1,607百万円（前年同期比85.1%）、売上総利益率は34.7%（前年同期比10.4ポイントアップ）となりました。

この主な要因としましては、自社コンテンツのヒットにより、製品の利益率が向上したことなどが挙げられます。

販売費及び一般管理費につきましては、平成23年6月1日をもって店舗運営に係る管理費の負担が無くなったことなどにより、996百万円（前年同期比59.1%）となりました。

この結果、営業利益は610百万円（前年同期比301.3%）、経常利益は602百万円（前年同期比304.1%）となりました。

四半期純利益は、リテール部門の事業譲渡に伴い、特別損失に事業分離における移転損失109百万円を計上したことなどにより、468百万円（前年同期比276.4%）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

(流動資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産の残高は1,805百万円で、前事業年度末に比べ211百万円増加しております。現金及び預金の増加593百万円、売掛金の増加238百万円、商品及び製品の減少468百万円、未収入金の減少127百万円が主な要因であり、減少には譲渡した事業に係る資産471百万円が含まれております。

(固定資産)

当第3四半期会計期間末における固定資産の残高は53百万円で、前事業年度末に比べ160百万円減少しております。保証金の減少85百万円、関連会社株式の減少60百万円が主な要因であり、減少には譲渡した事業に係る資産163百万円が含まれております。

(流動負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債の残高は1,019百万円で、前事業年度末に比べ330百万円増加しております。買掛金の増加76百万円、未払法人税等の減少26百万円、事業譲渡損失引当金（固定負債）の事業譲渡損失引当金（流動負債）への振替等による増加216百万円、賞与引当金の増加49百万円が主な要因であります。

(固定負債)

当第3四半期会計期間末における固定負債の残高は5百万円で、前事業年度末に比べ748百万円減少しております。株主、役員又は従業員からの長期借入金の減少500百万円、事業譲渡損失引当金（固定負債）の事業譲渡損失引当金（流動負債）への振替による減少232百万円が主な要因であります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産の残高は834百万円で、前事業年度末に比べ468百万円増加しております。これは、四半期純利益468百万円によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が発表日及び現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものでありますが、業績等につきましては様々な要因により、今後大きく異なる可能性があります。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期会計期間末の貸倒実績率等が前事業年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前事業年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、営業利益及び経常利益はそれぞれ44千円、税引前四半期純利益は463千円減少しております。

企業結合に関する会計基準等の適用

第2四半期会計期間より、「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成20年12月26日）、「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成20年12月26日）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日）を適用しております。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成23年11月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成23年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,077,665	484,571
売掛金	511,847	273,683
商品及び製品	114,233	583,015
仕掛品	50,438	35,071
原材料及び貯蔵品	3,113	7,288
その他	50,036	211,398
貸倒引当金	△2,122	△1,695
流動資産合計	1,805,213	1,593,334
固定資産		
有形固定資産	13,721	27,520
無形固定資産	6,160	6,544
投資その他の資産		
その他	35,338	181,997
貸倒引当金	△2,000	△2,000
投資その他の資産合計	33,338	179,997
固定資産合計	53,220	214,062
資産合計	1,858,433	1,807,396
負債の部		
流動負債		
買掛金	307,382	231,250
未払法人税等	4,668	31,244
返品調整引当金	27,514	24,830
ポイント引当金	—	21,200
賞与引当金	61,913	12,131
事業譲渡損失引当金	404,000	187,500
その他	213,686	180,417
流動負債合計	1,019,164	688,574
固定負債		
株主、役員又は従業員からの長期借入金	—	500,000
事業譲渡損失引当金	—	232,500
その他	5,196	20,905
固定負債合計	5,196	753,405
負債合計	1,024,361	1,441,979

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成23年11月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成23年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	330,000	2,877,163
資本剰余金	35,352	1,330,204
利益剰余金	468,454	△3,842,014
自己株式	△20	△20
株主資本合計	833,786	365,331
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	286	85
評価・換算差額等合計	286	85
純資産合計	834,072	365,417
負債純資産合計	1,858,433	1,807,396

(2) 四半期損益計算書
【第3四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年11月30日)
売上高	7,766,691	4,635,250
売上原価	5,877,436	3,028,099
売上総利益	1,889,254	1,607,150
販売費及び一般管理費	1,686,648	996,702
営業利益	202,606	610,447
営業外収益		
受取利息及び配当金	62	75
受取手数料	10,642	228
その他	82	130
営業外収益合計	10,787	435
営業外費用		
支払利息	15,076	8,366
その他	204	23
営業外費用合計	15,280	8,390
経常利益	198,113	602,492
特別利益		
貸倒引当金戻入額	1,686	—
受取和解金	6,486	—
その他	115	—
特別利益合計	8,287	—
特別損失		
固定資産除却損	110	22
災害義援金	—	9,274
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	419
事業分離における移転損失	—	109,580
店舗閉鎖損失引当金繰入額	20,240	—
その他	—	7,956
特別損失合計	20,351	127,252
税引前四半期純利益	186,049	475,239
法人税、住民税及び事業税	16,562	6,785
四半期純利益	169,486	468,454

【第3四半期会計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期会計期間 (自平成22年9月1日 至平成22年11月30日)	当第3四半期会計期間 (自平成23年9月1日 至平成23年11月30日)
売上高	2,538,921	1,185,771
売上原価	1,920,735	640,508
売上総利益	618,186	545,263
販売費及び一般管理費	553,193	221,892
営業利益	64,992	323,370
営業外収益		
受取利息及び配当金	0	—
受取手数料	2,884	109
その他	—	13
営業外収益合計	2,884	123
営業外費用		
支払利息	4,986	92
その他	82	4
営業外費用合計	5,069	96
経常利益	62,808	323,397
特別利益		
貸倒引当金戻入額	565	42
受取和解金	6,486	—
店舗閉鎖損失引当金戻入額	859	—
特別利益合計	7,911	42
特別損失		
固定資産除却損	—	22
災害義援金	—	1,500
事業分離における移転損失	—	4,585
事業分離に伴うポイント精算額	—	7,956
特別損失合計	—	14,064
税引前四半期純利益	70,719	309,374
法人税、住民税及び事業税	5,508	950
四半期純利益	65,211	308,424

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	186,049	475,239
減価償却費	13,041	7,382
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,686	426
賞与引当金の増減額(△は減少)	—	49,782
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△3,651	2,684
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△2,300	△21,200
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	20,240	—
事業譲渡損失引当金の増減額(△は減少)	—	20,100
その他の引当金の増減額(△は減少)	△13,559	—
受取利息及び受取配当金	△62	△75
支払利息	15,076	8,366
固定資産除売却損益(△は益)	110	22
事業分離における移転損失	—	109,580
売上債権の増減額(△は増加)	23,639	△238,164
たな卸資産の増減額(△は増加)	△83,476	△13,195
未収入金の増減額(△は増加)	210,054	127,718
未払金の増減額(△は減少)	△210,984	—
仕入債務の増減額(△は減少)	156,968	76,132
その他	△9,639	88,044
小計	299,820	692,843
利息及び配当金の受取額	62	75
利息の支払額	△7	△13,133
和解金の受取額	8,500	—
法人税等の支払額	△19,003	△22,026
営業活動によるキャッシュ・フロー	289,371	657,759
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△7,125	△4,794
無形固定資産の取得による支出	—	△2,535
敷金及び保証金の回収による収入	54,338	13,830
事業譲渡による収入	—	476,243
その他	△2,079	△47,406
投資活動によるキャッシュ・フロー	45,133	435,337
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	90,000
短期借入金の返済による支出	—	△90,000
長期借入金の返済による支出	—	△500,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	—	△500,000
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4	△3
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	334,500	593,093

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年11月30日)
現金及び現金同等物の期首残高	101,770	484,571
現金及び現金同等物の四半期末残高	436,270	1,077,665

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期累計期間(自 平成23年3月1日 至 平成23年11月30日)

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【セグメント情報】

(追加情報)

第1四半期会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、店舗・通信販売を内容とするリテール事業と、自社製品の製造・販売及び他社商品の卸売を内容とするエンターテイメント事業を展開しております。

従って、当社は、事業部を基礎としたセグメントから構成されており、「リテール事業」、「エンターテイメント事業」の2つを報告セグメントとしております。

なお、平成23年6月1日付でリテール事業を譲渡したため、第2四半期会計期間よりエンターテイメント事業のみの単一セグメントとなっております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期累計期間(自 平成23年3月1日 至 平成23年11月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	リテール事業	エンターテイメント事業	
売上高			
外部顧客への売上高	1,721,155	2,914,094	4,635,250
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	1,721,155	2,914,094	4,635,250
セグメント利益	2,311	608,136	610,447

(注)セグメント利益の合計は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

第2四半期会計期間において、リテール事業を譲渡したため、エンターテイメント事業のみの単一セグメントとなっております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成23年5月27日開催の定時株主総会において資本金及び資本準備金の額の減少並びに剰余金の処分を決議し、平成23年5月31日付で、資本金2,547,163千円及び資本準備金1,330,204千円をその他資本剰余金へ振り替えたうえで、その他資本剰余金3,842,014千円を繰越利益剰余金へ振り替えております。